



## 通学通勤時等のヒヤリハット体験を収集した

### 「市原版ヒヤリハットマップ」を公開

市では、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金及び公益財団法人豊田都市交通研究所と連携して、児童・生徒などから通学通勤時等のヒヤリハット体験を収集し、その結果をリスク評価した上で「市原版ヒヤリハットマップ」を作成しました。

#### 1 ヒヤリハット体験 調査概要

(1) 調査方法

「シン・ヒヤリハットWeb調査システム」を活用したWeb調査

(2) 調査期間

- ① 小中学校調査 : 令和5年9月6日から9月29日まで
- ② 事業所調査 : 令和5年10月4日から11月2日まで

(3) 調査対象

- ① 市内全40の小学校の4、5、6年生とその保護者：6,104人×2
- ② 市内全21の中学校の1、2、3年生とその保護者：6,266人×2
- ③ 市役所、小中学校、民間11事業所の従業員等 : 4,274人 計：29,014人

#### 2 市原版ヒヤリハットマップの公開について

6月1日から市ウェブサイトで公開します。

<https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=6622158377b1bf4205140f59>

#### 3 今後の活用方策

- ・ 小中学校で実施している指定通学路の点検時の活用
- ・ 小中学校や各家庭における交通安全教育での活用
- ・ ヒヤリハットの危険度が高い通学路等の対策や改善を検討

#### 4 問合せ先

- ・ 市原版ヒヤリハットマップに関すること・通学路の交通安全対策に関すること  
教育総務部教育総務課 TEL 0436-23-9845
- ・ 交通安全に関すること 市民生活部地域連携推進課 TEL 0436-23-9801
- ・ 通学路等の道路管理に関すること 土木部土木管理課 TEL 0436-23-9831

# Web調査システム入力時のイメージ

- ・ 地図上に、自分や相手のアイコンを配置して、ぶつかりそうになった状況を再現

事故になりそうになった体験について

事故になりそうになった時の状況を地図上で教えてください。  
以下の説明動画や記入例を参考に、アイコンを地図上にドラッグしてください。

動画を見る

例1
例2
例3



道を渡っているときに、右側からスピードを出した車が来た。急ブレーキで止まってぶつからなかったけど、あぶなかった。

横断歩道を渡っていたけど、車が止まらずに走ってきてぶつかりそうになった。

戻る



# 交差点横断歩道でも車が止まらない危険例



## ◆ 状況(自由記述)

- 横断歩道を渡ってる途中に車が向かってきた
- 車がないと思って渡ろうとしたら、車が来たのであわてて戻った。
- くるまが一時停止しなかった
- 信号のない横断歩道を渡っている時、車がスピードを出して走ってきて、ギリギリで止まった。特に通勤時や退勤時はスピードを出している車が多く危ない。
- 車で左折しようとしたら、停まっていた子供が急に渡り始めて、ぶつかりそうになった。
- 車がゼブラストップせずに通過した。
- 横断歩道を渡っている時にスピードを出して車が来て危なかった
- 自分が車両で右折をしたら、停車していた車両の後ろから自転車が飛び出してきた
- 信号のない横断歩道を渡ろうとしている時に、片側車線の車は止まっていたが、反対車線の車はスピードを落とさず走行していた。小中学生の通学路にもなっているため、信号もなく危険である。
- 子供の通学時に左側からの車が停止をしてくれ、横断歩道を渡ろうとしたが、右側からの車が停止せず、ぶつかりそうになった。
- 向かいから来た車が横断歩道を渡ろうとしている自転車のために他の車が横断歩道前で停止しているのに気づかなかったため、直前で急ブレーキになった。
- 横断歩道を渡ろうと思ったら、右から車が走ってきてぶつかりそうになった。

# 危険な乱横断の例



## ◆ 状況(自由記述)

- 横断歩道の無い道路を横切る歩行者が飛び出して来た
- 自動車で直進していたら、横断歩道の無いところで、高齢の女性が道路を横断してきた。
- 小学生の下校時間、歩道をふざけながら歩いていて、勢いでふらっと車道に出てきた。歩道も車道も広く、車もスピードを出す場所なので危険。